

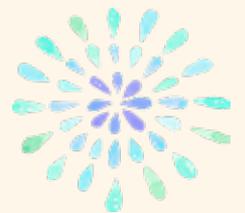
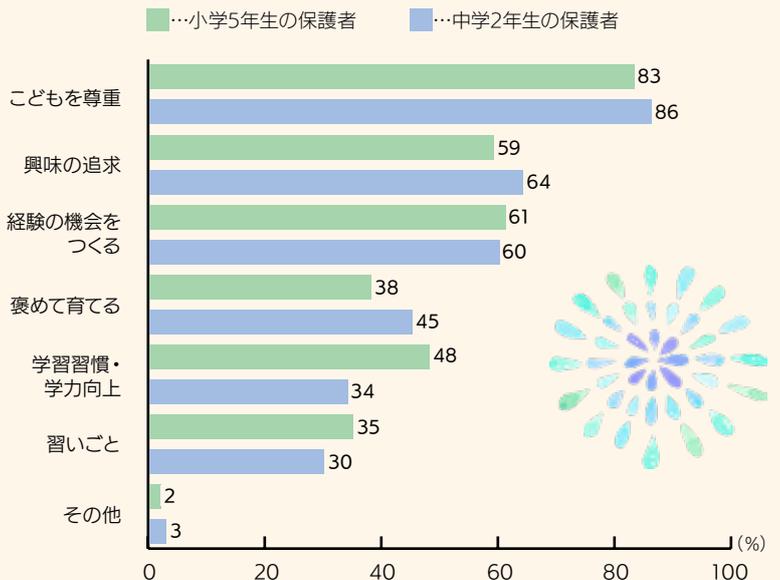
家庭で出来るキャリア教育

こどもの成長と共に考えなければならない将来の進路。保護者の中にはどんなサポートをすればいいかわからない人も多いはず。夏休み中にこどもたちと将来について考えてみてはいかがでしょうか。今回は、家庭でできるキャリア教育について紹介します。

キャリア教育とは

キャリア教育とは一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のことです。進路を決めることや、なりたい職業を明確化することではありません。キャリア教育が目指すのは「自立して生きていく土台になる力を育てること」。右のグラフは小学5年生と中学2年生の保護者を対象としたアンケート調査の結果です。この結果からこどもが決めたことを理解し、尊重する保護者が多くいることが推測されます。こどもの気持ちや好奇心を大切にしたり、職業について話す機会をつくったりしている家庭もあるようです。実際に何かを経験する機会を用意し、その中からこどもが興味を持ったものに家族と一緒に取り組むのもいかがでしょうか。

お子さんが就きたい職業を見付けるために、大切にしていることは何ですか？



わが家のキャリア教育

小さいころからとにかく友達と遊ばせました。人と関わることが一番大事なことだと思うので。

(中2保護者)

こどもが好きなことや得意なことを「すごいね」と褒めるようにしています。その時、一緒にこういう仕事に就くといいかもねと話します。

(小5保護者)

こどもが興味を持ったことには否定的なことを言わないようにして、分からないことは自分で調べるよう促し、理解が深まるようにしています。

(中2保護者)

やりたいことがみつからなくても

「好きなことがなくて困っている」というこどももいることでしょう。そんな時は、初めてのことや普段やらないことに挑戦して経験を増やすのはどうでしょうか。また、こどもが「何もやりたくない」という時、保護者は過度に心配する必要はありません。自分の興味に出会うタイミングはその子によって違います。肩の力を抜いてこどもがやってみること、自分で考えることをぜひ応援してあげましょう。キャリア教育と聞くと難しいイメージがあるのではないのでしょうか。またこどものことを思うがゆえに不安が先

行し保護者が将来を決めようとしたり、あれこれしなさいと指示をしがちになったりすることもあるかと思います。保護者の皆さん自身が生き生きとした姿をこどもに見せてあげること、働くことについて一緒に話をすることが、家庭でできるキャリア教育の第一歩なのではないのでしょうか。

